

今の学びが、未来へむすぶ

# くにもと

2026

3

VOL.91



特集

## 新しく生まれ変わる国本

生まれ変わる国本と守り続けていくもの

国本NEWS FLASH

つながるこころ 深まるきずな

記念祭フォトギャラリー

あの人にインタビュー



# 生まれ変わる国本と 守り続けていくもの

創立84年目を迎える国本学園は、これまで多くの子どもたちの学びを支え、地域とともに歩んできました。時代が大きく変化する今、受け継いできた伝統を大切にしながら、新たな取り組みにも挑戦してまいります。

## 変わる国本

### 校舎を大規模リニューアル！完成は2027年夏予定



(完成イメージ図)



施設の老朽化への対応とバリアフリー化を進めるため、校舎のリニューアル工事を行うことになりました。2026年度より工事を開始し、2027年夏の完成を予定しています。

新校門を北校舎側に設けることで登下校時の安全性を高めるとともに、現在の生徒昇降口にはラウンジを設置します。さらに図書館を拡充し、保護者の皆さまがくつろげる場も整えていく予定です。子どもたちと保護者の皆さまにとって、より安心で心地よい学園づくりを進めてまいります。

### 学園コミュニケーション マーク完成！

コミュニケーションマークは、学園のきずなを大切にしながら、幼・小・中・高が手を取り合い、「K」の文字を形作る姿をイメージしています。このマークに込められた想いのとおり、教職員一同が心を合わせ、学園全体で歩んでいきたいと考えています。

また、元・小川幼稚園園長の原案イラストをもとに、学園のマスコットキャラクターも新たに誕生しました。



KUNIMOTO



### 幼稚園 制服 新デザインへ 木製遊具も完成



2025年4月からリニューアルした幼稚園の制服は、年少さんでも脱ぎ着がしやすく動きやすいデザインが特徴。年長組がお泊まり保育で行った奥多摩の森の木で作られた新しい木製遊具は、園のシンボルになっています。

## 多様なライフスタイルに寄り添って



幼稚園では、朝7時30分から夜19時までの預かり保育や長期休業中の受け入れ、週3回の給食を通して、忙しいご家庭を支えています。小学校でも次年度からは毎日給食（選択制）を導入しました。化学調味料を使わない、子どもの身体の成長に良いものを提供しています。

また、幼稚園の課外クラブ、小学校のアフタースクール、中高のチューター制度など、通い慣れた環境の中で学びを深める機会を整えています。さらに幼稚園では、0歳から参加できる子育て支援活動「ぴよっこひろば」の活動を充実させ、地域に開かれた場づくりを進めています。



守り続けるもの

## 国本が大切にしている“人間教育”



創立者 有木春来先生

本学園の創立者である有木春来先生が掲げられた三つの校訓、「真心の発揮」「自然に対する素直さの涵養」「恩を知り恩に報ゆる心の育成」。私たちはこの校訓を道しるべとして、児童・生徒一人ひとりの成長の過程において、学力の向上はもとより、人間性の陶冶を目指し、日々教育活動に取り組んでおります。時代がどのように移り変わろうとも、その精神を大切に守り、未来へと伝え続けてまいります。



## 草木染

人間国宝の志村ふくみ先生の芸術精神を継承した染色ブランド「アトリエシムラ」のご協力のもと、学園の樹木を採集して草木染を行っています。



## いのちのスープ

料理研究家・辰巳芳子先生の一番弟子である対馬千賀子先生をお招きし、素材と自然を大事にした調理実習「いのちのスープ」を毎年行っています。



# 国本NEWS FLASH

## 中高吹奏楽部



### 全国大会で「最優秀グランプリ賞」 & 「文部科学大臣賞」受賞！

11月に行われました「2025(第31回)日本管楽合奏コンテスト 全国大会高校生A部門」にて、国本女子中学校・高等学校吹奏楽部が「最優秀グランプリ賞」および「文部科学大臣賞」を受賞しました！吹奏楽部が目指すのは「最高潮に咲く泥花」。泥臭く積み重ねてきた努力を、最高潮で美しい花として咲かされるよう日々練習を重ねています。



大会のダイジェストムービーはこちら



## 幼稚園 奥多摩へお泊り保育



森ではツリーハウスや沢遊び、木こり体験などのアクティビティを満喫！共同生活や自然の中で、子どもたち一人ひとりがたくさんの「できた！」を経験しました。また、木育体験を通して、木の香り・森の音・水の冷たさなど五感を使って、自然への興味関心が高まる貴重な時間を過ごしました。

## 東京デフリンピック 出場選手が特別授業



聴覚障害のあるアスリートの国際大会「デフリンピック」卓球男子日本代表出場された亀澤史憲選手による小学校特別授業が9月に行われました。自身の聴覚障害が分かったきっかけ、夢と向き合う事など貴重なお話をいただきました。

## 海外留学で世界へ！



高2の3名がカナダへ半年留学、中3の4名が夏に2週間のカナダ留学を経験しました。中学生は語学学校で交流を深め、アクティビティにも積極的に参加！ホストファミリーのあたたかさにも触れ、生涯忘れがたい思い出になったことと思います。

## 高校ソフトテニス部 インターハイ出場！



5・6月に行われた東京都インターハイ予選。団体戦では準優勝で出場を逃しましたが、個人戦で1ペアが5位に入賞し、インターハイ出場となりました。同ペアは、直前に行われた関東予選でも東京都3位に入賞し、ハイスクールジャパンカップにも出場となりました。

## 高校 探究テーマは 「ディズニーとハピネス」

「ディズニーとハピネス」をテーマに探究学習を行ってきた高3生が、その総仕上げとなる成果発表会を行いました。

桜美林大学発のキャリア支援プロジェクトチーム「ディスカバ！」の皆さまを審査員として迎え、見事優勝を果たしたのは「アレルギー代替食」をテーマにした班。「夢の国でみんなと同じ食事を楽しむために、アレルゲン除去食ではなく代替食を」という斬新な発想に、胸を打たれました。



## オーストラリアへ1週間 児童27名、笑顔で帰国



夏休みに毎年実施している「小学校 オーストラリア海外語学研修」。今年は27名の児童が参加しました。

初めての飛行機、初めての海外、初めて1週間親元を離れること、初めての海外のトラム、たくさん初めての経験がありました。帰国した子どもたちの表情は出国前よりも更り頼もしく、輝いて見えました。この1週間で語学だけでなく、世界の広さやコミュニケーションの大切さなどさまざまなことを学んだことでしょう。

## 小学校 探究学習「K×Study」 学びを社会につなげる探究。数々の受賞！

ケークロススタディ



主催：文部科学省、経済産業省  
第14回キャリア教育推進連携表彰

主催：公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団  
第31回コカ・コーラ環境教育賞

優秀賞

環境大臣賞



5・6年の2年間をかけて、一つのテーマを探究する学習「K×Study」は、各所で高い評価を受けています。文部科学省・経済産業省主催「第14回キャリア教育推進連携表彰」優秀賞をはじめ、「第31回コカ・コーラ環境教育賞」環境大臣賞など、数多くの賞に輝きました。子どもたちの豊かな発想と主体的な学びが、確かな成果へと結びついています。

## 小学校 吹奏楽部クラブ TBS音楽コンクール初出場



8月、小学校の吹奏楽クラブが「第73期TBS子ども音楽コンクール」八王子地区大会に出場し、見事「優良賞」を受賞しました。大きなホールでの演奏に緊張しながらも、日頃の練習の成果が発揮できた貴重な経験となりました。

## フィンランドから 留学生が来校



9月の1か月間、高2のDDコースにフィンランドからの留学生が来てくれました。初めは慣れない環境で緊張した面持ちでしたが、体育祭や調理実習の日本食づくりの体験を通し、心を通わせていきました。

# つながるこころ 深まるきずな

## 文部科学省が推進「幼小架け橋プログラム」 年長～小学1年生への階段をスムーズに



文部科学省が推進する「幼保小の架け橋プログラム」は、就学前（5歳）から小学1年生の子どもたちを対象に、幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な移行を支援する取り組みです。国本学園では、学園の強みを生かし、子どもも保護者も安心して進学できるよう取り組んでいます。



### 教室の机に座ってチャレンジ1年生！



小学校入学に向けて、子どもたちがイメージや期待をもてるよう、幼稚園生が定期的に小学校の教室で小学校体験を行っています。教室の机に座って鉛筆で自分の名前を書いたり、音楽の授業を受けたりと、緊張しながらも意欲的に取り組んでいます。



学園全体、そして地域の皆さまとのつながりも大切にしています。

## 幼・小・中高 日常的な交流を目指して

学校の垣根を越えた交流も数多く行っています。幼小の交流会は年に数回実施しており、幼稚園のクリスマス会では中高吹奏楽部による演奏や、ネイティブ教員によるゲーム大会を行いました。また、学園内の教員同士も研修を通して連携を深め、より良い接続ができるよう努めています。



## 地域社会とのつながりも

地域行事にも数多く参加させていただきました。小学校の探究学習の発表や、中高の軽音楽部・吹奏楽部による夏祭りでの演奏、美術部による行事ポスターのデザインなどを行いました。商店街の方々には、行事だけでなく、日々の登下校時の見守りや授業においても、多くのご協力をいただいています。





## 2025年度の記念祭

テーマ：「Nova～爆発的な輝き～」

「Nova（ノヴァ）」はラテン語で「新しい」を意味し、天文学では宇宙に現れる「新星」を指します。めまぐるしく変化する現代社会の中で、子どもたち一人ひとりが新星のように、唯一無二の輝きを放つ機会となることを願い、このテーマを掲げました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、皆が心を込めて準備してきた作品や発表の一つひとつは、光り輝いていました。

足元のお悪い中ご来場いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

今年のポスター



# あの人に インタビュー

高校2年生  
Iさん



## 自分なりの「マイ・ルーティン」で勉強と部活を両立！

今年の記念祭で実行委員長を務めました。人前で話すことはそれほど苦ではありませんが、考え方の違う仲間の意見をまとめ、一つの形にしていくことは想像以上に大変でした。沖縄をテーマにした企画では、展示や飲食内容について多くの意見が出ましたが、先生や仲間と話し合いを重ね、みんなが前向きに取り組める形を見つけられました。当日、来場した方々が楽しそうに過ごしている姿を見たときは、「やってよかった」と心から感じました。

吹奏楽部では複数の楽器を担当し、演奏する楽しさを日々味わっています。忙しい毎日の中で大切にしているのが、自分なりの「マイ・ルーティン」です。通学時間を使って電車の中で勉強したり、曜日ごとに小テストの準備をしたりと、決まった流れを作ることで、勉強と部活動の両立を続けています。今は、アンサンブルコンテストと漢検に向けて頑張っています。

将来については、大学進学後にじっくり考えていると思いますが、音楽はこれからも続けていきたい大切な存在です。また、子どもと関わる仕事にも興味があり、「音楽と人をつなぐような道を見つけたい」と考えています。さまざまな経験を重ねながら、自分の可能性を広げていきたいです。



右) 吹奏楽部で演奏を披露するIさん  
左) 記念祭では放送係も担当

国本学園では、これからも同窓会のつながりを大切にしていきたいと考えています。久しぶりに校舎を訪れ、懐かしい先生や仲間と語り合うひとときを過ごしてみませんか。皆さまにお会いできる日を、心より楽しみにしています。



## 編集後記



春の訪れを感じる季節となりました。日頃より国本学園の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。今号では、より親しみをもって学園の様子をお伝えできるよう、レイアウトを大幅に見直しました。本誌を通して、園児・児童・生徒の学びや成長の姿を身近に感じていただけたら幸いです。

